

平成29年度不祥事ゼロプログラム(検証) 藤沢工科高等学校

6月	グループ名	管理運営グループ
	課題	会計処理等の適正執行
	取組	私費会計および、現金の適正処理と適正管理
	目標	私費の不明瞭な経理処理を防止し、円滑な執行に努め、私費会計の事故を未然に防止する。
	行動	会計処理等について全職員研修会を実施する。適正な用紙による支出伺いと執行についての説明会を行う。
検証	適正な会計処理の手順を確認した。また、研修後に個別対応で、適正な用紙による支出伺いと執行についても再確認することができた。	
7月	グループ名	生徒支援グループ
	課題	生徒事故対応
	取組	生徒事故を想定し校内緊急体制を実際に行ってみる。
	目標	生徒事故等の校内緊急体制についてシュミレーションを行い、実際に起きた時にスムーズな対応ができるように訓練する。
	行動	夏休み前に、生徒が倒れたという想定で、緊急体制のシュミレーションを行う。
検証	実際の事故を想定して、緊急体制のシュミレーションを行った。職員が生徒事故の初期対応を実際に体験し、再確認できた。	
10月	グループ名	総合技術科グループ
	課題	情報セキュリティ対策、個人情報等の管理【必須】
	取組	個人情報取扱に関する啓発を行う。
	目標	個人情報取扱に関して、注意点を再度確認し、事故防止につなげる。
	行動	個人情報の適切な取扱方法についての注意喚起。
検証	IPA独立行政法人 情報処理推進機構の情報セキュリティ対策DVDにより、最新のセキュリティ対策について、興味深くまたポイントを押さえた映像により、効果的に情報セキュリティに対する意識を高められた。	
9月	グループ名	生活指導グループ
	課題	セクハラ行為及び体罰を含む不適切指導【必須】
	取組	「教育委員会事故・不祥事防止職員啓発資料」を用いた講話
	目標	生徒の人権への配慮を深め、セクハラ等不適切指導の防止に努める。
	行動	教育委員会事故・不祥事防止職員啓発資料を用いて、セクハラ等不適切な指導の事例を提示し、理解を深める。
検証	教育委員会事故・不祥事防止職員啓発資料を用いて、「事例から」について講話をし、セルフチェックにより再確認を行い、意識を高めることができた。	
8月	グループ名	教務グループ
	課題	成績処理及び進路関係書類作成及び取扱いに係る事故防止【必須】
	取組	成績処理工程の確認
	目標	成績処理工程を的確に把握し、成績処理に係る事故を防ぎ、調査書等発行の際の事故防止につなげる。
	行動	1学期の成績処理に係る訂正件数を提示し、成績処理工程表を使って、成績処理一つ一つの作業についての注意を促した。
検証	指導要録や調査書の作成の際のもとになる成績全般に関して、工程内の作業・点検の手順を再確認し、その重要性の意識を高めることができた。	
12月	グループ名	広報企画グループ
	課題	法令遵守意識の向上(交通事故防止、酒気帯び運転防止、交通法規の遵守)【必須】
	取組	事例研究、最新法規の研修会を企画する。
	目標	交通事故、酒酔い、酒気帯び運転の未然防止の意識を再確認する。
	行動	交通事故、酒酔い、酒気帯び運転の事例に学び、日常に潜む危険の再確認になる資料・ビデオを準備し提示する。
検証	飲酒運転防止啓発ビデオを視聴後、セルフチェックを行い、未然防止の意識を高めた。	
12月	グループ名	進路グループ
	課題	危機管理
	取組	危機管理意識の向上をめざす。
	目標	企業の人材育成及び危機管理意識を参考にし、今後の指導に生かす。
	行動	企業の講師を依頼し、企業倫理と危機管理意識を含め、企業での人材育成について基調講演とケーススタディによる研修を行う。
検証	企業の講師を依頼し、企業倫理と危機管理意識を含め、企業での人材育成について基調講演とケーススタディによる研修を行った。学校と企業での人材育成の違いについて考察を深めるとともに、どのように生徒を育てるかを学んだ。	